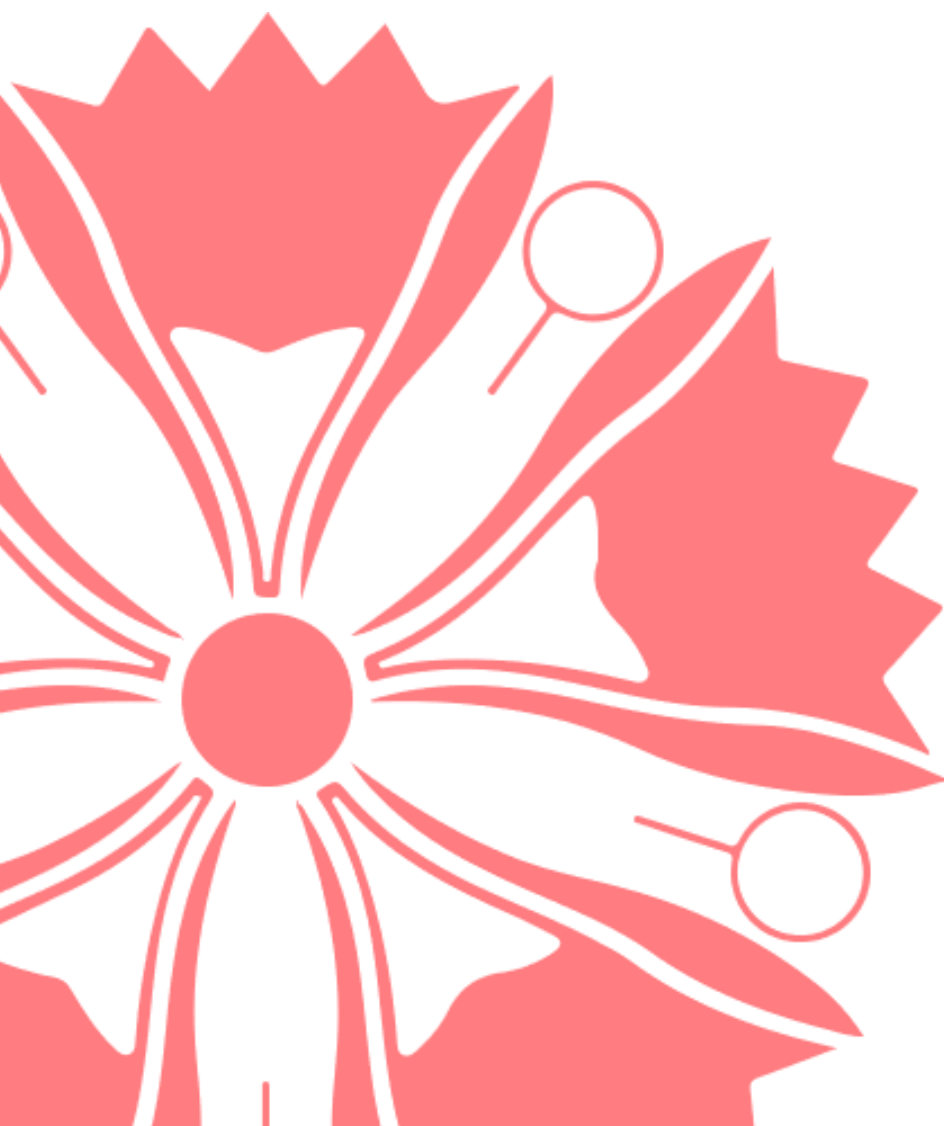


済生会山形済生病院 看護部

Yamagata Saisei Hospital



山形済生病院看護部長

阿部 富貴子



山形済生病院看護部の理念は、「私たちは、済生会の創立の精神『施薬救療』に則り、対象となるすべての人々の尊厳および権利を尊重し、温かみのある個別的な看護を提供します」とあげています。

「施薬救療の精神」とは、社会的弱者をはじめ、すべての人々に保健・医療・福祉をいきわたらせる救済の心です。私たち看護職は、患者さんに安全で安心な医療を提供するために、医療チームの一員として責任をもって他職種と協働するとともに、患者さんに最も近い存在として患者さんの意思決定を擁護し、患者さんがその人らしい生活を送れるように支援しています。そして、患者さんの退院後の生活を見据えて、訪問看護ステーション・特別養護老人ホーム・介護老人保健施設と連携して、地域に密着した看護を提供することを心がけています。

看護部の人材育成として、看護技術を動画とeラーニングでいつでも学習できる「ナーシング・スキル日本版」と、各年代にあわせた継続教育プログラムを提供しています。また、一人一人のキャリアビジョンに向かう課程・経験を「キャリアファイル」で成長を可視化し、成長段階に合わせたクリニカルラダーシステムによりキャリアアップを応援しています。看護部職員が「自ら学び、自ら育つ」ことができる自律した看護職として成長できるように支援していきます。



「済生」それは「生命を救うこと」

済生会は1911年5月30日、明治天皇の済生勅語によって創立されました。

100年を超える歴史があり、「済生」の心を受け継ぎ、保健・医療・福祉の充実・発展をめざし、数多くの事業を行っています。

現在、日本最大の社会福祉法人として、東京に本部、40の都道府県に支部を置いて活動しています。

社会福祉法人として、また公的医療機関として、その機能を充実させ、さらに発展させるべく、

病院、介護老人保健施設、老人・児童福祉施設、訪問看護ステーションなどの施設で

約66,000人の職員が保健・医療・福祉活動に取り組んでいます。

山形済生病院の理念

MISSION 「仁」 愛と思いやりの医療を提供します

VALUE 安全で質の高い医療
誠実で信頼される医療
連携に基づくチーム医療
地域包括ケアシステムの構築

VISION 急性期から在宅まで地域で安心して暮らせる医療に貢献します
患者さんより信頼の得られる病院を目指します

看護部理念

私たちは、済生会の創立の精神「施薬救療」に則り、対象となる全ての人々の尊厳及び権利を尊重し、
温かみのある個別的な看護を提供します。

看護部基本方針

1. **やさ**しさと思いやりをもって信頼される看護を提供します。
2. **ま**なび(学び)続け、安全・安心なケアを提供する自律した看護師を目指します。
3. **さい**せいかい(済生会)人として保健・医療・福祉の連携をはかり、地域に根差した看護を提供します。
4. **い**し(意思)決定を支援します。患者・家族の思いに寄り添って・・・



令和4年11月人工関節センター・周産期センター開設

山形済生病院はこれまで、整形外科・産婦人科の診療を柱としてきました。
特色ある病院づくりとして、令和4年11月より人工関節センター・周産期センターを開設し、
今まで以上に地域の医療機関や患者さんに選ばれる病院を目指します。

人工関節 センター

人工関節治療の拠点病院として…

整形外科開設から40年、数多くの手術を行っており、現在人工関節手術件数は年間800件以上となっています。

高度な技術が必要とされる人工股関節再置換術は年間20例以上、両側同時膝関節置換術も年間70例以上行っており、難度の高い症例は県外からも紹介があります。



人工関節手術件数年間800件以上



充実のリハビリスタッフ



充実の専門医陣



センター内リハビリルーム

術前から術後、退院まで専門のスタッフが関わります

病棟内にリハビリルームを設置したことで、患者さんが移動せずにリハビリができるようになりました。
専門スタッフによる医療・看護・リハビリの集約的医療を提供します。

周産期 センター

母体と赤ちゃんにとって安全で安心な病院を目指して

ハイリスクな妊婦さんの妊娠管理を行い、搬送される母体や赤ちゃんに必要な高度医療を行っています。また産科外来と産科病棟の一元化により、妊娠初期からお産後まで切れ目のないケアを提供しています。助産師による妊娠各期に応じた保健指導、産後のおっぱい外来などを行っています。



安心して出産できる快適な環境



患者さんが安らげるラウンジ



分娩室(森のお産)



LDRIにてご家族と一緒に赤ちゃんを迎えることができます

利便性が高く、心地よい環境を

助産師外来、おっぱい外来、IVF、カウンセリングルームを同じフロアに集約し、患者さんにとって利便性が高く、心地よい環境の中で安心してお産に臨んでいただけるように改善しました。

患者さん同士が交流できるサロンや、青空や草花をイメージしたラウンジを設置することで全ての妊婦さんがほっと安らげる空間を目指しています。

外来



外来は毎日700～800名の患者さんが受診されます。通常の外来診療に加えて、救急搬送される患者さんの受け入れも各科外来で行い、夜間や休日は救急外来を担当しております。

入退院支援室



入退院支援室では、看護師・事務・栄養士・薬剤師・医療ソーシャルワーカーと連携しながら、医療チームの一員として入院前から退院支援、在宅療養支援を行っています。

中央部門A



放射線部や採血採尿室、内視鏡室など様々な現場で検査や説明・介助を行っています。患者さんと接する時間は短いですが、他職種と連携しながら、常に安心・安全・安楽・スピーディーな対応を心がけています。

手術室



手術室では8診療科の手術に対応し、年間約3800件の手術が行われています。その約半数が整形外科手術で当院の特徴となっています。

HCU



HCUは、手術・外傷・炎症・多臓器不全などにより、生命に大きなリスクを抱えていますが、適切な医療を提供することで改善が期待できる患者さんに対して集中治療を提供しています。

透析室



透析室は23床のベッドを有し、維持透析の他に、緊急透析、新規導入、他科の入院患者さんの透析も担っています。

NICU



NICUでは、早産児や低出生体重児を音や光の刺激から守って体内環境に近づけることを目指したディベロップ・メンタルケアを行っています。

3B病棟



産科病棟です。年間約650件の分娩があります。妊産婦の主体性を引き出し、自立へのサポートを目的として、母親学級や助産師外来など保健指導に重点を置いたケアを提供しています。

4A病棟



人工関節センターです。入院日数の短縮・統一した医療に向け、クリニカルパスにて患者さんと共にゴールを見据えて取り組んでいます。

4B病棟



産婦人科と整形外科の患者さんが入院している病棟です。患者さんと共に感動し、共に成長できるよう心がけて看護をしています。

5A病棟



脳神経外科・腎臓内科・神経内科を中心とする急性期病棟です。早期からリハビリテーションを開始し、患者さんだけでなく家族も含め、早期回復と退院支援の援助を行っています。

5B病棟



一般外科・乳腺外科・心臓血管外科・泌尿器科を中心とする急性期病棟です。急性期だけでなく、回復期やターミナル期などの健康段階に合わせた看護ができるように、患者・家族に寄り添った看護の提供を心がけています。

6A病棟



循環器内科・糖尿病内科・消化器内科を中心にした急性期病棟です。

患者・家族・スタッフとの信頼関係のもと、安全・安心な看護の提供を目指し、日々チーム一丸となり頑張っています。

南2病棟



回復期リハビリテーション病棟です。

病棟の機能としては、脳・脊髄疾患または大腿骨頸部骨折等の患者さんや廃用症候群の患者さんに対して、ADLの向上による在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行う病棟です。

南3病棟



後期高齢者社会に備え、地域包括ケア病棟として急性期医療から在宅への橋渡しの役割を担っています。

えらべる勤務体制



日勤 8:45～17:00



準夜勤 16:45～1:00



深夜勤 0:45～9:00



二交替 16:45～9:00



殆どの部署で2交替・3交替を選ぶことができます！
冬だけ2交替・・・など個人の希望に柔軟に対応していますのでご安心ください。



看護部教育理念

看護部理念の実現に向けて、看護実践ができるための人材育成を行い、一人一人の自己啓発に対して支援を行う。



看護部基本方針

1. 看護の専門的知識・技術・態度を習得し更に積み重ね、臨床実践能力を向上させる。
2. 組織の中で自己の立場を認識し、その役割に自覚と責任が持てるように育成・強化する。
3. 自己研鑽・自己啓発ができるよう環境を整え、支援する。
4. 患者・家族の状況を尊重して心を寄せて話をよく聞き、受け止める態度・言動及び意思決定を支援する能力を向上させる。

新人看護職員の1年間

4月



新採用職員研修

5月



ME機器研修

5月



夜間看護研修

6月



3ヶ月フォローアップ研修

8月



スキンケア研修

10月



新採用職員フォロー研修

1月

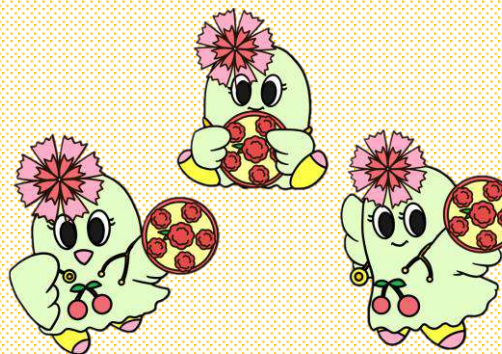


看護実践発表会

2月



1年目のまとめ研修



1 年目

基礎づくり



- 《目的》 1. 社会人、組織人としての自覚を持ち、専門職業人としての自立を目指す。
- 《目標》 1. 社会人としての接遇を身につけ、責任ある行動ができる。
2. 正確な知識や技術を身につけ、助言、指導を受けながら、患者に安全な基本的看護サービスが提供できる。

2 年目

基礎固め



- 《目的》 1. 臨床実践能力を高め、後輩指導能力を身につける。
2. 医療チームの役割を理解し、関連部門との関わりを学ぶ。
- 《目標》 1. 看護実践において、自主的な判断で適切な看護サービスが提供できるとともに、必要時助言を求めることができる。
2. チームメンバーの役割を理解し、メンバーシップが発揮できる。
3. プリセプターとして後輩への助言や相談相手になり、指導的関わりを学ぶ。
4. 患者・家族・医療チームと良い人間関係がとれる。

3 年目

自立



- 《目的》 1. 自己の看護観を高める。
2. リーダーシップの基礎知識を身につけ、問題解決能力を高める。
3. 関連部門との連携を築く。
- 《目標》 1. 患者の家族を含めた問題解決思考ができ、適切な看護サービスの提供と評価ができる。
2. リーダーシップを身につけ、日勤業務のリーダーの役割をとることができる。
3. 関連部門を活用して、意見集約しながら問題解決をしていくことができる。

プリセプターシップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

現場教育(OJT)



集合研修と連動し、現場でプリセプター、アソシエイトプリセプター、卒後1年目担当委員、主任・副主任看護師、看護単位の責任者と屋根瓦方式で個々の成長に合わせた支援をしています。



私たちはこう育つ！ キャリアファイル

キャリアファイルは、自分自身の実践の積み重ねの記録です。自分が大切にしてきたこと、頑張ったことを記録し成長を実感することができます。



キャリア開発システム図.....

- レベルⅤ

地域への貢献 組織的アプローチができる
病院単位での活動ができる

高度看護実践Ⅱ
本部研修：看護師長・副看護部長・看護部長研修
看護協会研修
- レベルⅣ

卓越した看護実践ができる
看護部単位での活動ができる

高度看護実践Ⅰ
本部研修：アドバンス・マネジメント研修Ⅲ
- レベルⅢ

看護部または所属看護単位でリーダーシップを発揮し、
問題解決できる
病院単位の教育担当者・実習指導者を担当できる

リーダーシップ研修
自由選択コース(業務改善、研究成果活用、教育・指導)
- レベルⅡ

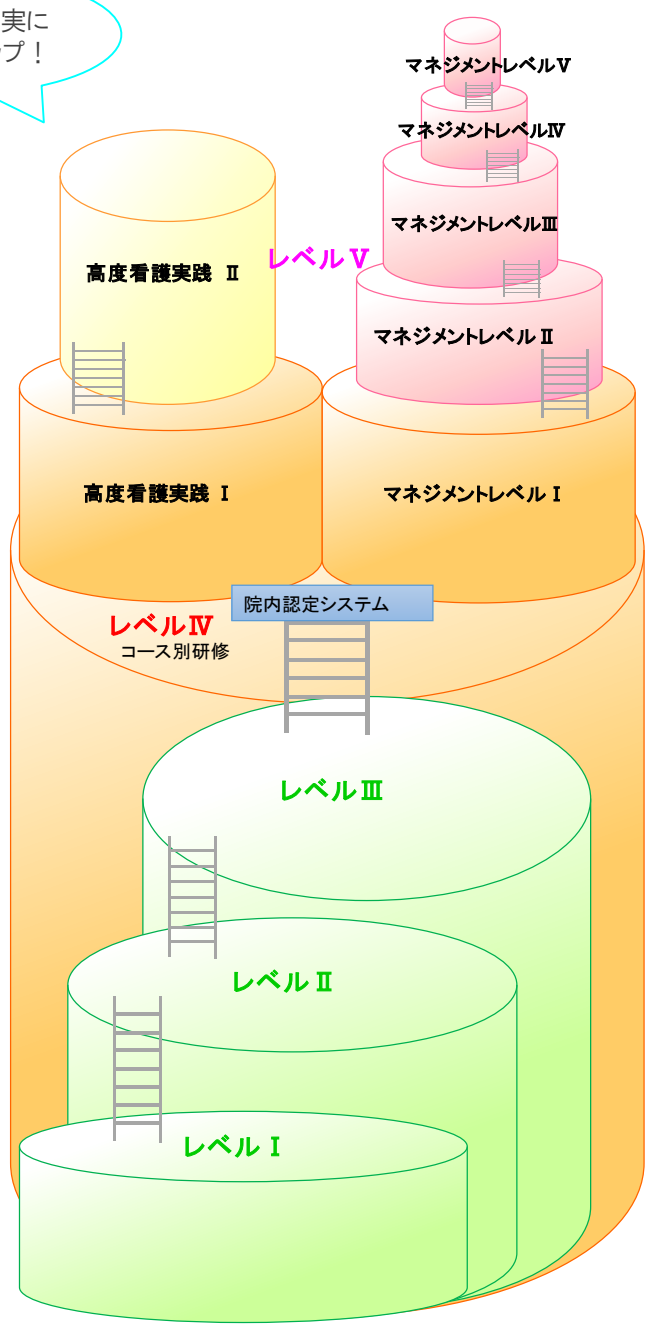
自立して所属看護単位でルーチンな看護実践ができる

リーダーシップ研修 プリセプター研修 退院支援・コミュニケーション
4年目ケーススタディ フィジカルアセスメント
- レベルⅠ

助言を受けて基本的な看護実践ができる

新人看護研修 基礎技術 看護記録 BLS 感染対策
医療安全 ケーススタディ

一歩ずつ着実に
ステップアップ！



		ラダー	役割別プログラム
1年目	・新採用者研修 ・注射・輸血・採血研修 ・ME機器の取り扱い ・夜間看護 ・3ヶ月フォローアップ研修 ・コミュニケーションスキルと接遇 ・BLS研修 ・そういうことだったんだ褥瘡予防 ・アンガーマネジメントの基礎と実践 ・看護過程 ・実践に役立つ看護倫理 ・みんなで2年目を迎えよう ・看護実践発表会	I 必須 I 必須 I 必須 I 必須 I 必須 推奨 I 必須 I 必須 推奨 I 必須 推奨 I 必須 I 必須	
2年目	・リーダーシップ研修Basic-1 ・リーダーシップ研修Basic-2 ・フィジカルアセスメント研修(初級編) ・卒後2年目対象 元気回復行動プラン 自分で作る「元気になれる道具箱」	II 必須 II 必須 II 必須 推奨	プリセプター研修Basic プリセプター研修Intermediate
3年目	・リーダーシップ研修Intermediate-1 ・リーダーシップ研修Intermediate-2 ・入退院支援室実地研修	II 必須 II 必須 II 必須	実地指導者研修 I 実地指導者研修 II
4～6年目	・看護理論を学び活用してみよう ・ケーススタディ発表会 ・リーダーシップ研修Advanced-1 ・リーダーシップ研修Advanced-2	II 必須 II 必須 III 必須 III 必須	褥瘡専任ナースを目指そう 施設看護職員認知症看護研修 BPSPD
7～10年目	・マネジメント研修-1 ・マネジメント研修-2 ・ジェネラリストの強みを伸ばす	III 必須 III 必須 II III 推奨	教育担当者研修
11年目以上	3年に1度、自由選択コースの いずれかを選択 自由選択①業務改善コース 自由選択②研究成果活用コース 自由選択③教育・指導コース		済生会東北・北海道ブロック研修

●全看護職員型

看護研究研修会
Ⅰ～Ⅲ

認知症高齢者
看護を学ぼう

重症度、医療・看護
必要度評価者研修

高齢者看護
呼吸不全看護
基礎編・応用編

高齢者看護
慢性心不全患者の
看護Ⅰ・Ⅱ

救急看護
急変の基本 心電図

ICLS

院内だけではなく、院外の研修も
推奨しています！



●病院全体型

がん診療学習会

栄養の学習会

パス大会

院内感染対策研修

医療安全研修会

災害研修

事業計画説明会

倫理・人権研修

接遇研修

リフレッシュ研修

他部署研修

BLS研修

院内学会

新採用職員
フォロー研修
【階層別】

中堅職員研修
【階層別】

主任・副主任研修
【階層別】

医師・管理者研修
【階層別】





認知症看護認定看護師

奥山 まり子



認知症看護認定看護師の役割には、認知症の方にとって安心かつ安全な生活・療養環境を調整することがあげられています。我が国では高齢化がすみ、近い将来高齢者の5人に1人が認知症患者という時代になるといわれています。当院でも認知症や認知機能の低下が見られる患者さんは増えている状況です。認知症の方にとって、入院といった環境の変化は、大きなストレスを引き起こすことがあります。そのストレスを少しでも軽減するために、一人ひとりの背景をとらえ、その方にあった環境を整えられるように活動しています。

当院では2017年に多職種による認知症ケアチームが結成されました。認知症の方が持つ力を発揮しながら入院生活を送り、早期に住み慣れた地域に戻ることができるよう、サポートしていきたいと考えています。

慢性心不全看護認定看護師

小野 瑛子



慢性心不全看護認定看護師とは、心不全の患者さんに対して、憎悪の回避や予防のための支援を行うのが、おもな役割となります。心不全とは心臓がポンプの機能を果たせなくなった状態のことをいいます。一度悪くなった心臓をもとに戻すのは難しく、今の心臓の機能がこれ以上悪くならないように治療していくことが大切です。しかし憎悪予防が十分にできておらず、再入院が多いという現状があります。憎悪を予防するには自宅での管理が重要になります。塩分や水分を制限したり、服薬の徹底、適度な運動を行う必要があります。これまでの食生活習慣を変えるのは容易なことではありません。患者さんの生活背景をよく理解し、どのようにすれば自宅で上手く管理していけるか一緒に考え支援していくのが私の役割です。再入院を減らし、患者さんが自宅で自分らしく過ごせる時間が長くなるよう取り組んでいきたいと思っています。

がん看護専門看護師

齋藤 智子



がん看護専門看護師は、「実践」「相談」「調整」「倫理調整」「教育」「研究」という6つの役割を担いながら、主に癌を患った患者さんやそのご家族の支援を行います。

山形県では、がん看護専門看護師として初めて認定されました（現在は山形県内で2名のがん看護専門看護師が活動しています）。

がんを患うことで、患者さん・ご家族は様々な困難を経験されますが自らの力でその困難を乗り越えていくことが出来るといわれています。しかし、それは適切な医療者の手助けがあつてのことです。ので、がん看護専門看護師として患者さん・ご家族がご自身のより良い療養を可能に出来るよう生活面を中心に支援していきたいと思っています。また、患者さんやご家族にとってより良い療養生活とは何かを医療スタッフとともに考え、実践していきたいと思っています。

当院で活躍するスペシャリスト

- ・ 診療看護師 1名
- ・ がん看護専門看護師 1名
- ・ 皮膚・排泄ケア認定看護師 2名
- ・ 集中ケア認定看護師 1名
- ・ 緩和ケア認定看護師 1名
- ・ がん化学療法認定看護師 1名
- ・ 不妊症看護認定看護師 1名
- ・ 新生児集中ケア認定看護師 1名
- ・ 認知症看護認定看護師 2名
- ・ 慢性心不全看護認定看護師 1名
- ・ 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 1名
- ・ 摂食嚥下障害看護認定看護師（特定行為研修修了） 1名
- ・ 感染制御実践看護師 1名

資格取得をサポート

診療看護師や専門看護師、認定看護師の資格取得に関しては、研修のための入学金や学費から、認定合格までの費用を病院が負担し支援しています。また、修学期間の身分は保証され給与・賞与も支給されますので安心して学ぶことができます。看護のスペシャリストを目指す方を全面的にバックアップしていきます！



助産師

3B病棟

新妻 凜

2024年入職

Q1

現在の仕事内容について

分娩介助だけでなく、妊婦さんの点滴管理や褥婦さんへの生活指導の他、新生児や婦人科の患者さんを対象にケアを行っています。褥婦さんに対しては私たちの関わりが退院後の生活の基盤となるため、昼夜問わず相談に乗りながら個別性に沿って看護を提供しています。

Q2

当院を選んだ理由

学生時代様々な病院で実習させていただいた中で、職員の方々が温かく接してくださり細かく丁寧に指導してくださったのが印象的でした。また、ローリスクの方からハイリスクの方まで様々な周産期の対象と関わることができる為、幅広いケアを学びたいと感じ入職しました。

Q3

入職して嬉しかったこと、やりがいについて

分娩や妊娠中から関わらせていただいた患者さんが、新生児と一緒に笑顔で退院される姿を見るととても嬉しく感じます。そのような姿を一人でも多く見られるよう一人ひとりに寄り添う気持ちを大切に関わっていきたいです。

Q4

職場の雰囲気

慣れない業務や仕事で不安な部分もありますが、先輩方が分かりやすく教えてくださったり相談に乗ってくださったりと、毎日明るく優しい先輩方に囲まれ支えられています。

Q1

現在の仕事内容について

人工膝関節および人工股関節置換術を受けた患者さんの看護を担当しています。

Q2

当院を選んだ理由

総合病院に勤めたいという気持ちがあり、その中で「急性期から在宅まで地域で安心して暮らせる医療に貢献します」というVISIONに興味を持ったため志望しました。

Q3

入職して嬉しかったこと、やりがいについて

自分の出来ることが増えたり、患者さんから感謝の言葉をいただいたりすると嬉しく思います。また、患者さんの状態が良くなっていくのを見るとやりがいを感じています。

Q4

職場の雰囲気

分からないことは必ず教えてくれ、こまめに声もかけてくれるため、安心して業務を進められる環境です。



看護師

4A病棟

富樫 豪臣

2024年入職



助産師

3B病棟

小関 姫歌

2023年入職

Q1 現在の仕事内容について

私が働いている病棟は急性期と終末期の混合病棟のため、手術前後の看護や終末期の看護を行っています。主な業務は、検温や手術出し・戻りの対応、医師処置の介助など行っています。

Q2 当院を選んだ理由

患者さんとの関わりや地域との連携を大事にしているだけでなく、教育環境が整っており自分のスキルアップの向上に繋がると感じ、当院を選びました。

Q3 入職して嬉しかったこと、やりがいについて

私が入職したばかりの頃に入院していた患者さんが、2年後に急変し再度入院してきた際、私の名前を覚えてくれていて「あのときはお世話になったので会いたかったんです」とあいさつをしてくれました。仕事に慣れていない頃で難しいと思いながら関わっていた患者さんだったため、覚えていてくれたことがとても嬉しく感じました。

Q4 今後の目標

業務で精いっぱいではなく患者さんに関わる時間を増やし、患者さんがどんなことで悩んでいるのか考えながら、今後も患者さんに寄り添っていきたいです。

Q1 現在の仕事内容について

分娩介助だけでなく、妊婦さんの点滴等の管理や、産後の方への育児指導を行っています。お腹の中にいる赤ちゃんまでもが看護の対象者となるため、常に五感を働かせながら業務に取り組んでいます。

Q2 当院を選んだ理由

以前、当院へ入院していた際にスタッフの方々がとても温かく接してくださり、私のためのケアを一生懸命考えてくださったのがきっかけです。私も一人ひとりの希望に合わせてケアを提供し、患者様がより快適で安心な入院生活を送ることができるよう支援したいと思い当院を選びました。

Q3 入職して嬉しかったこと、やりがいについて

プリセプターをはじめ、周りの先輩方が私の良いところを見つけてくださり、それを伝えてくださるのが、嬉しく感じます。また、出産の場面や入院中の患者様とのかかわりの中で、赤ちゃんを見つめて笑顔になるお母さんたちの表情を見ると、私もとても幸せな気持ちになり、やりがいを感じます。

Q4 今後の目標

もっとたくさんのことを学び、冷静な判断と行動で赤ちゃんとお母さんの命を守るとともに、一人ひとりに寄り添う気持ちを大切にして、安心して出産できるあたたかい雰囲気をつくれるようになりたいです。



看護師

5B病棟

五十嵐 万暉

2019年入職



助産師

4B病棟(現在は3B病棟)

安孫子 美紅 2022年入職

Q1 現在の仕事内容について

現在の主な業務は、手術出しや手術の迎え、整形外科の術前・術後の看護、日常生活の援助、診療の補助業務、点滴・採血などです。

Q2 当院を選んだ理由

学生の頃から整形外科で働きたいと思っており、山形済生病院は整形に特化している病院であるため、整形外科について深く学ぶことができると思ったからです。また、自分が以前手術を受けた病院でもあるため、この病院で看護師として働きたいと思い当院を選びました。

Q3 入職して嬉しかったこと、やりがいについて

入職時より1人でできることが多くなり、術前・術後の看護も自立しています。日々できることが増えると嬉しいです。学生の頃とは違い、沢山の患者さんと関わることが多く、「ありがとう」という言葉を言われたときはとてもやりがいを感じます。

Q4 今後の目標

入院業務・退院業務など今よりできることを増やし、病棟の戦力になることです。また、患者さんとの関りを大切にいき、回復に向けて支えられるようになることです。

Q1 現在の仕事内容について

私が勤務している病棟は産婦人科と整形外科混合の急性期病棟です。主な業務内容は、重症悪阻・切迫早産などの妊婦の入院管理、婦人科疾患・整形外科疾患の術前準備や術後の看護(バイタルサイン測定、点滴、創傷管理、疼痛管理、退院後の生活指導等)です。

Q2 当院を選んだ理由

私が済生病院を選んだ理由は、自分が生まれた病院で助産師として地域貢献したいと思ったことや、地域周産期母子医療センターであるため専門的な知識・経験を身につけられると思ったからです。

Q3 入職して嬉しかったこと、やりがいについて

患者さんから「ありがとう」と感謝の言葉をかけられたり、笑顔で退院される姿をみるとやりがいを感じます。「あなたに出会えて良かった」と言ってもらえたときは嬉しかったのと同時に、患者さん1人1人との出会いを大切にしなければならないという気付きも得られました。

Q4 今後の目標

現病歴・既往歴・症状・コミュニケーションで得られた情報から全体像を把握しながら広い視野をもって患者さんに関われるようになりたいです。そのために、分からない疾患・薬はその都度調べ知識を増やしていくことを続けていきたいと思います。また、病棟の先輩方に優しく丁寧に教えていただいたので、私も後輩に知識・技術を教えられる先輩になりたいという目標もあります。



看護師

4A病棟

小野 黎 2022年入職

出産・育児のサポート

妊娠・出産・育児に関する支援を充実させることで、仕事と家庭を両立させながら、長く働き続けられる職場づくりを目指しています。

☆ 院内保育所・病児保育所の併設



☆ 出産・育児のための休暇休業



男性

- ・出産休暇(3日)
- ・育児休業(1歳の誕生日の前日まで)



女性

- ・妊娠時間短縮勤務(始業就業それぞれ30分)
- ・産前休暇8週間取得可能(法定では6週間)
- ・育児休業(1歳の誕生日の前日まで)
- ・育児短時間勤務(3歳の誕生日の前日まで)

など

☆ 山形いきいき子育て応援企業
「優秀(ダイヤモンド)企業」認定

☆ 山形企業イクボス同盟参加企業



暮らしのサポート

☆ 職員宿舍 ドミトリー済生

ご実家が遠方の方等のために、病院の敷地内に宿舍を完備。低額の自己負担が魅力で、多くの先輩職員が利用しています！

- ・1DK フローリング・バルコニー付
- ・月額30,000円
※駐車場1台、上下水道代を含む
- ・独身者に限りますが、山形市内在住者も利用できます



特別優待サービスの充実

☆ 冠婚葬祭特別優待サービス

結婚式場や葬儀会場を利用する際に、割引制度があります。

- ・割引料金はおおよそ5%～10%



☆ モンテディオ山形(サッカー)

スポンサー特典としてホームゲーム招待券をプレゼントしています。

互助会制度の充実

山形県済生会には、相互扶助を基本理念とし、医療費・慶弔費等において追加給付を行う制度があります。

給付の内容としては、医療費給付や慶弔祝金等給付(結婚・出産・永年勤続・香典・傷病見舞等)があり、職員だけではなく配偶者や扶養親族にも適用されます。

医療費給付

外来診療(本人)
保険診療負担2,500円を超えた額

入院診療(本人)
保険診療負担10,000円を超えた額

分娩(当院での分娩のみ)
出産一時金を控除した額

職員の健康管理



- ☆ 各種がん検診
乳がん・子宮頸がん・前立腺がん・胃がん
- ☆ 各種予防接種
麻疹、風疹、ムンプス、水痘抗体価検査・ワクチン接種
HBs抗体価検査・ワクチン接種
インフルエンザワクチン接種
- ☆ PET/CT検査
職員の割引制度があり、職員や配偶者は通常の利用料金の半額で検査を受けることができます
- ☆ 職員対象の「健康運動教室」

ほかにも充実した制度があります

☆ 本部共済事業

当院では済生会の退職金2本立てに加入しており、充実した退職金を受け取れます。

また在職時には低利で資金を貸し付ける制度もあります。

☆ クラブ活動助成

院内には下記のクラブがあり、病院から活動費の補助が出ています。

サッカー部、ソフトボール部、バスケットボール部、華道部、登山部、ボウリング部、マッコクラブ、バドミントン部

国際貢献 -山形ダッカ友好病院-



バングラディッシュの首都ダッカには「山形ダッカ友好病院」があり、当院はその後援事務局として活動しています。

令和4年9月、山形ダッカ友好病院院長のラーマン医師が、医療分野における日本・バングラディッシュ間の友好親善に貢献したことを称えられ、旭日双光章を授与されました。



ACCESS

- お車で
JR山形駅より15分、
国道13号線大野目交差点より5分
- 列車で
JR羽前千歳駅下車、徒歩10分
- バスで
シャトルバスをご利用ください
- 路線バスの場合
「山交ビル・山形駅前～天童温泉・楯岡北町行き」
「千歳」バス停下車、徒歩10分

問い合わせ先

〒990-8545

山形県山形市沖町79-1

社会福祉法人 恩賜 済生会山形済生病院 人事課 今野

TEL 023-682-1111

E-mail jinji@ameria.org

<https://www.ameria.org>



当院ホームページ



マイナビ看護学生